

学部 / 看護専門領域 / 看護の実践

科目コード：130044

統合実習 Integrative Practicum

| | | | | | |
|----------|--|-----|----|------|----|
| 担当教員 | 看護教員全員 | | | | |
| 実務経験 | 複数の教員が担当しており、全員に病院等の勤務経験がある。 | | | | |
| 開講年次 | 4年次前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 実習 |
| 必修・選択 | 必修 | 時間数 | 90 | | |
| Keywords | 継続看護、ケアの質保証、チーム医療、リーダーシップ、メンバーシップ、専門職間連携、安全管理 | | | | |
| 学習目的・目標 | <p>【学修目的】</p> <p>施設における療養生活と継続看護を支える実際、またその後の地域における人々の健康生活を支援する保健・医療・福祉体制の実際とその連携を理解し、チーム医療の中で看護師としてのリーダーシップ、メンバーシップを実践する能力を養う。</p> <p>【学修目標】</p> <ol style="list-style-type: none">健康障害を有する人々が地域（在宅）一外来一病棟の場で、療養を継続するための医療・看護組織のシステムと地域および専門職間の連携の実際を知り、チーム医療における看護の役割と機能を理解する。<ol style="list-style-type: none">一貫性・継続性ある看護ケアの提供システムを理解する。<ol style="list-style-type: none">病棟の看護ケア提供システム病棟一外来一在宅の継続システム（病棟一外来一元化システムや入退院支援センター等含む）看護チームの一員としてのリーダーシップ、メンバーシップのあり方を理解する。看護業務遂行におけるタイムマネジメントと役割分担、優先順位の決定を理解する。看護チームの一員として、メンバーとともにケアを実施する。退院支援の医療チームカンファレンスに参加し、看護チームおよび看護師の役割・機能を理解する。外来患者の療養生活を理解し、外来看護のあり方を考える。地域連携および専門職間連携の実際を理解し、外来看護の役割・機能を理解する。安全・安楽な医療・療養環境を保証するためのシステム・整備および看護師の調整役割を理解する。<ol style="list-style-type: none">薬物療法に関する指示受けと確実な実行を理解する。医療用消耗品・備品の管理システムを理解する。入院患者の安全・安楽な療養環境の保持を理解する。 | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| 回 | 内容 | | | | |
| | <p>【実習内容】</p> <ol style="list-style-type: none">病棟実習<ol style="list-style-type: none">一貫性・継続性ある看護ケアの提供システム①病棟の看護ケア提供システム ②病棟一外来一在宅の継続システム看護チームの一員としてのリーダーシップ、メンバーシップのあり方看護業務遂行におけるタイムマネジメントと役割分担、優先順位の決定看護チームの一員としての看護ケアの実施退院支援のチームカンファレンスでの看護チームおよび看護師の役割・機能医師の指示受けと確実な実行医療用消耗品・備品の管理システム入院患者の安全・安楽な療養環境の保持 <ol style="list-style-type: none">外来実習<ol style="list-style-type: none">一貫性・継続性ある看護ケアの提供システム①病棟一外来一在宅の継続システム（入退院支援センターなど）地域で生活する人の在宅での療養生活と必要な看護支援継続看護における看護連携の必要性看護職以外の専門職が担う役割や専門性を理解し、チーム医療を発揮するために看護職と他職種との協働地域社会で生活する人々の保健・医療・福祉のニーズを充足するための地域連携の実際 ②病棟一外来一在宅の継続システム（病棟一外来一元化システムや入退院支援センター等含む） 看護チームの一員としてのリーダーシップ、メンバーシップのあり方を理解する。 看護業務遂行におけるタイムマネジメントと役割分担、優先順位の決定を理解する。 看護チームの一員として、メンバーとともにケアを実施する。 退院支援の医療チームカンファレンスに参加し、看護チームおよび看護師の役割・機能を理解する。 外来患者の療養生活を理解し、外来看護のあり方を考える。 地域連携および専門職間連携の実際を理解し、外来看護の役割・機能を理解する。 <p>【実習方法】</p> <ol style="list-style-type: none">実習課題の明確化および実習計画立案各実習場所との調整病棟実習<ol style="list-style-type: none">看護チームの一員となり、リーダーとメンバーとともに行動する。看護師長又は副師長に、実習内容について、説明を受けたり、観察、資料閲覧を行う。外来実習<ol style="list-style-type: none">外来看護師と共に行動し、外来看護（看護連携、各部門（専門職間連携））を体験する。通院加療中の患者1～2名、可能ならば、外来から入院となる患者1名を受け持つ。受け持った患者の情報や患者との関わりを通して、通院しながら在宅で療養する患者の理解を深め、必要な看護援助をアセスメントする。また、継続看護を行う上での課題を明らかにする。専門職間連携の実際を通して、チームの中での看護の役割を考える。実習まとめ<ol style="list-style-type: none">実習での学びを共有し、一人ひとりの理解を拡張・深化させるために、テーマ別の課題について、学びをまとめ、発表する。 | | | | |
| 教科書 | 系統看護学講座専門5 成人看護学総論（医学書院）、統合分野 看護管理 看護の統合と実践①（医学書院） | | | | |
| 参考図書等 | 在宅看護学 改訂第2版（南江堂） | | | | |
| 評価指標 | 実習目標の達成状況（70%）、看護専門職に必要な態度(30%)を実習内容及び実習記録やプレゼンテーション、最終課題レポートから評価する。 | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 関連科目 | 看護キャリア形成論、これまで学んだ全ての科目 |
| 教員から学生へのメッセージ | これまで修得した知識・技術、経験から得た学びを思う存分発揮し、生活者である人々の健康問題に対応するために、どのような専門職と連携する必要があるのか、場所を問わず人々に必要な看護ケアを提供することを学修します。 |